

第116回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和5年6月23日（金） 13:30～15:35

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Zoom使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
金子委員、齊藤委員、坂井委員、坂田委員、高土委員、寺島委員、
平尾委員、丸谷委員、宮田委員、木戸委員、大村委員、河端委員、
奥村委員、中村委員、吉田委員、北川委員、柿原委員

（オブザーバー）外村監事、林監事、松尾副学長、喜多副学長、近藤副学長、
眞庭副学長、玉置副学長、長坂人文学研究科長、高橋法学研究科長、
小池工学研究科長、村上医学研究科長

欠席者 齋藤委員、久元委員

議事要録について

第115回の経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、
役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明が
あった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

1 国立大学法人神戸大学クロスアポイントメント制に関する規則の一部改正 について

クロスアポイントメント制度の適用対象者を見直すことに伴い、国立大学
法人神戸大学クロスアポイントメント制に関する規則を一部改正することに
ついて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 神戸大学におけるクロスアポイントメント制度の現状の運用はどの
ようになっているのか？

→ 新たなイノベーションを創出するため人材の流動性を高めることが
できるよう、本学では平成27年度から制度運用を開始し、令和5年
6月時点で実施している件数は35件となっている。

○ クロスアポイントメント制度にかかる神戸大学のKPIはどのよう
になっているのか？

→ 第4期中期目標期間のKPIは、在籍延べ人数120人としており、
本制度が実施された2015年から人数は右肩上がりに推移している
ことから、KPIは達成できると考えている。

2 令和4事業年度決算について

令和4事業年度財務諸表について、決算概況書及び附属病院決算に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

また、併せて、財務諸表に添付する事業報告書及び決算報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 運営費交付金が増え、補助金も特殊要因を除けば前年度から9.1億円の増であり、また、教員1人当たりの外部資金受け入れ状況も実績を伸ばしている理由は何か？

→ 学長のリーダーシップの下、例えば、戦略企画室助成金獲得企画推進部門の設置などによる外部資金獲得に向けた様々な施策が、効果を上げていると考えている。

○ 常勤職員の人件費が増え、ほどなく常勤教員と肩を並べるかと思われるレベルに達しているがその要因は何か？

→ 常勤職員の人件費の増加分の多くは、附属病院での診療活動の拡大に應じて、医療系職員を増加させたことによるものである。

○ 科研費の受入額が前年度より減っているが、何か対応策は考えているか？

→ 科研費の受入額が減っているのは、コロナ禍による繰越しもあるが、採択件数が減少しているのが要因である。対応策として、国際共著論文にかかる国際共同研究や先端的異分野共創研究などを強化している。なお、本学は研究大学であることから、各部局を訪問した際、科研費の申請率の向上をお願いし、全体の申請率の底上げを行っているところである。

○ 今回の会計基準改訂の主な目的は何か？

→ 多様なステークホルダーにとって理解しやすい財務諸表となるようより民間に近づくことを目的に改訂されている。

3 令和6年度概算要求について

令和6年度概算要求に係る組織の廃止転換・再編成等及びミッション実現加速化経費等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 神戸大学として概算要求の順位付けや選定はどのような方針に基づき行っているのか？

→ 設備については、全学として共通的に必要なものから選定し、順位付けしている。また、組織整備等については、国の施策、大学の方向性に則って、順位付けしている。

報告事項

- 1 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について
文部科学省から令和5年3月23日に通知があった第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。
- 2 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について
昨年6月に文部科学省へ申請した第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について、同省より指定に関する連絡があったことについて報告があった。
- 3 令和4年度監事監査結果報告について
令和4年度に実施した監事監査の結果について報告があった。
- 4 中期財務計画の進捗状況について
令和4年度の決算状況及び令和5年度の現時点における状況等を踏まえ、第4期中期目標・中期計画の2つの財務指標、及び中期財務計画で策定した「戦略的投資」と「資金調達」の見通しについて報告があった。
- 5 「大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」への申請について
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の公募「大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」へ申請を行ったことについて報告があった。
 - 神戸大学は「ハイレベル枠」と「一般枠」のうち、「ハイレベル枠」で申請しているということだが、「ハイレベル枠」と「一般枠」とで教育の質が異なるようにしていただきたい。
 - 「ハイレベル枠」と「一般枠」は申請の区分であり、「ハイレベル枠」であっても「一般枠」であっても教育の内容・質は変わらない。
- 6 人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業の公募への申請について
人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業の公募へ申請を行ったことについて報告があった。
 - 人文・社会科学系ネットワーク型のこのプログラムは3大学にて、入試や学位授与も共通で実施するのか？
 - 最初は3大学共通の教育プログラムとし、大学間の授業はオンラインで実施することから始め、段階的に共通化を進めていく内容となっている。

- 7 令和5年度大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業」への申請について
令和5年度大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業」へ申請を行ったことについて報告があった。
- 8 国からの助成金（施設整備関連事業）の採択状況について
国からの助成金（施設整備関連事業）の採択状況について報告があった。
- 9 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業の選定結果について
文部科学省の公募「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の選定結果について報告があった。
- 10 文部科学省「質の高い臨床教育・研究の確保事業」に関する選定結果について
文部科学省「質の高い臨床教育・研究の確保事業」に関する選定結果について報告があった。
- 11 その他
令和5年度WP Iの申請結果について報告があった。

◎ 次回は、令和5年9月22日に開催予定。